

## 新送りがなについて

「難読・誤読の恐れのあるものは多く送る」といふ趣旨で、「行う」は「行なう」と書くやうに改められました。「難読・誤読の恐れのあるものは多く送る」といふ趣旨は好いのですが、だからと言って「行う」を「行なう」と書けといふことには承服できません。「行なう」と書きたい人がさう書くのを<sup>とが</sup>尤めるつもりはありませんが、私は「行う(行ふ)」といふ送りがなが難読・誤読の恐れがあるものとは全く考へませんから、「行なう」と書かなければいけないと言はれても承服できないのです。

確かに「行って」といふ表記だけを見せてどう読むかと問はれたら「いって」と「おこなって」と二通りに読めると答へるでせう。然し、実際にはその上に「祝賀会を」とか「東京駅へ」とかの言葉があるはずで、さうしたら読み方は決ってしまひます。まして、普通は活用語尾が“は(わ)行”と“か行”と明らかに異つてゐるのですから、「行なう」に統一せよといふのは理不尽と言はざるを得ません。

もう一つ、「取り締まる」といふ新送りがなについて考へてみたいと思ひます。私は、「取締る」といふ表記が最も良いと考へてゐます。“取”は普通“ら行”の語尾を送るものですが、この場合は複合語で、“とり”と読むに決つてゐますから、わざわざ“り”を送る必要は無いと思ひます。

次に、“締”は“しまる”と“しめる”の読み方がありますが、これも“取”との連合で“しめる”とは読めませんから、“ま”を送る必要は全くありません。

屁理屈<sup>へりくつ</sup>を言へば、“取締る”では“取ら締める”“取る締める”“取れ締める”とも読めるでせうが、実際にはそんな言葉は実在しないのですから「難読・誤読の恐れがある」とはとても考へられません。“とりしまる”と読むしかないでせう。それなのに“取り締まる”と書けといふのは、これも理不尽と言はざるを得ません。

そもそも送りがなといふものは、漢字ばかりで書かれた漢文が読めない人の為に、読み易いやうにかなを付け加へたことに始まります。ですから、「どう送れ」と規定すべき性質のものでは無いのです。どういふ能力の人を相手に書くかに依つて、送りがなを多くしたり、少なくしたりして加減すべきものだと思ひます。

送りがなといふものは、漢字を国語として読む為に起つた便宜的な現象ですから、これを統一したり規定する必要の無いものです。その必要が無いのに統一したり規定したりしようと努めるのは役人根性の最もいけない所だと思ひます。放つて置けば必ず落着くべき所に落着くものです。